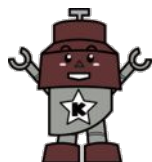


 市長 奥ノ木信夫	埼玉県 かわぐちし 川口市  川口市 市章	【データ】 令和7年4月1日現在 ・人口：607,943人 ・世帯数：308,606世帯 ・面積：61.95k m² ・市の花：鉄砲百合 ・市の木：サザンカ ・特産物：鋳物、植木、釣竿 ・主な祭：たたら祭り 市産品フェア 【健康都市連合日本支部担当課】 保健部 保健総務課 電話 048-229-3291(直通)
---	---	--



川口市マスコット
「きゅぼらん」

●川口市の概要

川口市は埼玉県の南端に位置する都市です。荒川を隔てて東京都に接し、江戸時代から鋳物や植木などの産業が発展。その後、住宅都市化が進みました。首都東京と隣接しているという利便性を活かしながら、固有の伝統ある“ものづくりのまち”として、活力あるまちづくり・人づくりを目指します。

●川口の魅力を一言で紹介するキーワード

「あ・い・う・え・おのまち 川口」



あ 荒川・芝川：川のまち ～川口を育んだ川の恵み～

大消費地江戸と川口を舟運で結んだ荒川・芝川・見沼代用水。鋳物や農産物など、川口の産業の発展を支えた母なる川たちです。いまでも市内には大小400もの川が流れ、周囲の木々とともに四季を彩ります。



い 鋳物・木型・機械：産業のまち ～伝統の“ものづくり”～

鋳物の起源は室町時代にさかのぼるといわれ、機械・木型とともに発展してきました。江戸時代には釣竿（和竿）製作・味噌醸造・織物なども発展。

“ものづくり”の技術と精神は、川口のDNAなのです。



う 植木・花卉：緑のまち ～江戸から続く特産品～

江戸時代から続く植木産業。土壌・地形・立地に恵まれ、伝統の技が創りあげた「安行植木」はいまや世界ブランドに。生け花に気品と風格を醸す枝物は、その技術の確かさから「赤山物」と称され市場の信頼を得ています。



え 映 像：Dシネマのまち ～SKIP シティを拠点に集積～

次世代の映像産業を担う人材を“育てる”仕組みが SKIP シティに集積。映像を見る場・学ぶ場・作る場・発表の場が揃った全国にも類いまれな環境が、映像にチャレンジしたいという“思い”を本気の“熱意”に高めています。



お 御 成 道：将軍社参のまち～徳川将軍日光社参の宿場町～

日光御成道（にっこうおなりみち）は、歴代の徳川将軍が日光社参に使った将軍専用道です。川口宿・鳩ヶ谷宿の名残が江戸の香りを伝えます。



お オートレース

川口オートレース場では、時速150kmのスリルとスピードによって展開される、スリルのあるドラマを楽しめます。

●健康・生きがいくくり・食育の推進

平均寿命が延びる中、一人ひとりが生き生きと健康上に問題なく日常生活を送っていくためには、体づくりの源である「食」について正しい知識を身につけ、「健康」でいられる生活習慣を心がけることが必要です。

令和7年3月、本市では、健康づくりと食育に関する取組を効果的かつ効率的に推進するため、「川口市健康・生きがいくくり計画」及び「川口市食育推進計画」を総合的に一体化した「川口市健康生きがいくくり計画・食育推進計画（第三次）」を策定しました。

この計画では、「どの世代も健康で生きがいをもち 食を楽しめる都市 川口」を基本理念としており、この基本理念を実現するため、「健康日本21（第三次）」で提唱されている基本目標を考慮するとともに、次の3つの基本目標を掲げ、目標を達成するための取組を推進します。

3つの基本目標

- ・みんなが健康で暮らせるまち【健康増進】
- ・みんなが生き生きと暮らせるまち【生きがいくくり】
- ・食がみんなの健康と暮らしにつながるまち【食育推進】

●川口市健康応援アプリ「Sun-歩」

健康づくりの意識向上と運動の習慣化を図ることを目的とした、スマートフォンを使ったウォーキングアプリを活用し、市民の健康づくりに取り組んでいます。歩いた歩数に応じてポイントが付与され、市内在住者は、貯まったポイントを利用し、市産品などが当たる抽選会に参加できます。（右の二次元コードからアプリをダウンロードできます）

